

Ａ どういう結論を住民の皆さんが望むのか、それに沿って進みたいと考えています。

Ｑ 合併は機動的ではないと思います。財源が豊かでも社会資本の整備が進んでいるとは限りません。人口が減少しているところとは合併しないほうが良いと思います。

Ａ 町は微増ですが人口は増えています。農業集落排水事業も進んでおり、金井地区は公共下水道で、白倉地区も下水道整備を考えています。懇談会後に解かりやすいアンケートを実施したいと考えていますのでご協力をお願いいたします。

Ｑ 20万、30万都市くらいの合併計画はないですか。

Ａ 過去9回にわたって合併問題研究会がありましたが具体的な意見はありませんでした。地域の伝統を大事にし、自分たちが生活する中で中心地が栄え、周辺が寂れるのでは困ります。2台4町1村で20万都市を目指してはと提案しています。合併はいろんな選択肢を出して議論するのが良いと思います。視野を広げて大きい合併を提案しています。現状では仕組みが出来ていないので、メリット、デメリットが不明確となっています。

皆さんから仕組みを出していたり、さまざまな方向が定まればメリット、

● 福島地区

アメリカトが出てくるものと思われず。



2月5日(水)午後7時
ら・らん 参加者 55人

④ 町民について

Ｑ 任意協議会設立準備会が設置されたことは、合併は進んで通れないので、より良い合併をするための意向と方向が出たものと思います。樺太、安中を入れた任意協議会への参加ができませんでしょうか。

Ａ 準備会では、富岡甘菜広域と樺太、安中も入れた合併の仕組みを主張しています。富岡市は任意協議会に入りたい意向で、甘菜広域でもそうしたい意向があります。町は正式な意向は出ていませんが準備会というところで参加しました。仕組みは今後、任意協議会、アンケート等で町の方

向を決めていきたいと考えています。合併については100年の大計で考え、次世代のためにも将来働いて残さない選択策を考えていただきたいと思っています。

⑤ 町民 アンケートについて

Ｑ 合併を考えると財政問題が基本で、極めて難しい財政状況を考えての合併は進んで通れないと思います。町の人口も10,000人で推移し、現下の経済状況や少子高齢化などを考えると合併するより仕方ないと思います。

Ｑ 福島地区は、昭和27年から7年の歳月と住民投票の末34年に合併した経緯があります。この合併には様々な経緯がありました。経験からして、住民に合併の意思を聴いても10人十色です。町は財政問題から合併は進んで通れないことを住民によく理解していただき、合併の方向で進めてほしいと思います。

Ａ 合併問題についてはいくつかの選択策を出して、住民の皆さんが容易に理解でき、意思が反映されるようなアンケートを行いたいと考えています。アンケートの結果により今後の方向を考えたいと思います。多数の意見ばかりでなく少数意見も尊重したいと考えています。

Ｑ 合併問題に住民がどれだけ関心があるかが心配です。内容も十分理解されませんがアンケートを行うのは反対です。地域によって合併相手も様々です。財政問題を抜きに考えている人もいます。町は難しい財政問題を前面に出して合併を推進してもらいたいと思います。

Ｑ アンケートはいつごろ実施しますか。

Ｑ アンケートを実施し住民の意向を聴くことはいいことだと思えます。

Ｑ アンケートは富岡甘菜広域だけの枠組みでなくいくつかの選択策を出して実施してもらいたいと思います。

Ｑ 今は合併に賛成する確信もないし、反対する確信もありません。しかし、財政問題を考えると大変重要で、合併問題について十分な理解がないままアンケートを行い、賛成、反対の結論を出すのは後で後悔すると思うし今後良い結果にならないと思います。十分な説明資料を作ってアンケートを実施して欲しいと思います。

シリーズ
市町村合併を
考える